

互いに認め合い 学び続ける 心豊かな生徒の育成

本校は都市化にともなう生徒数の増加により、昭和59年に御南中学校から分かれて開校し、今年で38年目を迎える全校生徒449名の中規模の学校です。校内にある泰山木は6月に常緑の葉の中に白い大きな花を咲かせます。物事の真理を見通す若人の象徴として開校時に校木に選定されました。正門には「誠実・忍耐・創造」の校訓碑が設置されています。互いに尊敬し合い、学び合う中で新しいことや難しいことにも挑戦し、夢や目標に向かって粘り強く努力する生徒に育てほしいという、地域や保護者の願いが込められています。今年度もこの教育理念を実現すべく全職員一丸となって取り組んでいます。

平成24年度から道德教育の充実に全職員で取り組み、授業づくりの研修を重ねながら、今日まで道德の授業を実施してきました。その結果、自分の思いを表現できる生徒が増え、教室に支持的な風土が生まれつつあります。数学の習熟度別少人数学習(個別指導)を実施することにより、学力が定着していない生徒の学習意欲の高まりが見られるようになりました。平成27年度から取り組んできた協同学習を実践することにより、聴き合い学び合う学習集団の育成を目指しています。

また、今年度GIGAスクール構想がスタートし、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を目指しています。

さらに「あいさつをしよう かえそう 広めよう」というスローガンのもと、保護者や地域の方々の協力によりあいさつ運動を実施、中学生ボランティアが活躍できる場を地域の方々から提供していただく等、地域とのつながりがより一層強固なものになっています。また、中学校区5校園連携のPTA活動として「メディアコントロール週間(習慣)」を実施しています。このような様々な取組を推進し、家庭や地域の力添えを引き続き得ながら、学区の幼稚園・小学校とも連携し、共通の目標と学びでつながる生徒集団の構築に努めています。

令和3年4月

岡山市立芳田中学校
校長 本郷 昭治